

特集

指定管理者制度を生かそう

廃校になった小学校施設を利用したクラブ運営 ～NPO法人WillDo(ウィルドゥ)(長崎県佐世保市)～

長崎県の総合型クラブWillDoでは、廃校になった小学校施設の指定管理者となり、建物を有効活用することで、さまざまな教室を展開しています。かつて地域の人々が通った小学校がどのようにして生まれ変わり地域住民の憩いの場となったのか、その活動をクローズアップします。

🔑「指定管理」に関わるキーポイント

- ★ 市の公募で集まったメンバーで委員会が発足
- ★ 指定管理はクラブ経営の補助という考え方

1 クラブ概要

NPO法人 WillDo(ウィルドゥ)は、平成16年度、17年度の日本体育協会育成指定クラブ委託事業を受託し、平成17年12月1日に設立されたクラブです。

クラブ設立のきっかけは、平成14年に佐世保市の公募で設立された市総合型地域スポーツクラブ研究委員会です。この研究委員会に、スポーツに理解と関心のある市民10名とアドバイザー3名が集まりました。現在のクラブマネージャーである浅井増雄氏も委員会に参加したメンバーの一人です。この委員会で得たクラブの必要性や目的についての知識が、クラブの第一歩を踏み出すきっかけとなりました。また、委員会における他のクラブの視察や、総合型クラブに関する行政の動向についての情報をいち早く収集できたことが、法人格取得、指定管理者資格の受託にも大きく役立ちました。



かつての学校の面影を残す教室は、クラブが指定管理者となったことで幅広い世代の人々が集う場所へと生まれ変わった。

2 廃校となった小学校を指定管理で有効活用

クラブの活動は、佐世保市にある花園、旭、清水中学校区のPTA会長である浅井増雄氏とPTA役員が中心となり、年々減少する部活動種目を改善したいという思いからスタートしました。ドーナツ化現象により廃校となった佐世保市中心部の旧戸尾小学校の指定管理を受託することで、空き教室をクラブハウスとして利用し気軽に通えるスポーツクラブになっています。そのほかにも、セルフ卓球や床を補強したトレーニングジム、壁を補強したゴルフスタジオなど、校舎をクラブの運営に有効活用しています。地域住民が集う場となり、地域全体で子どもたちを見守りながらスポーツを楽しみ、「この前、ホームランば打ったとってな(ホームランを打ったそうだな)」、「コラ、そがんズンダレた格好ばすんな(そんなだらしなない格好をするな)」、そのような会話の成り立つ地域を目指して多数の教室を運営中です。

3 指定管理はクラブ経営の補助という考え方

平成16年度、17年度の日本体育協会育成指定クラブ委託事業の受託では、できるだけ早いクラブの設立を心がけ、設立と同時期の法人格取得も目指しました。当クラブは、クラブを通じた地域の健康増進や文化振興、コミュニティの形成促進、豊かな高齢化社会の創設、そして、青少年の健全育成など、地域の発展に寄与することを目的としています。その目的を遂行するために、クラブ経営が絶対に赤字にならないよう2年間の助成金による事業・収支計画は、あくまでクラブ経営のためのスタートとして捉えた収支シミュレーションを徹底して行いました。

施設の管理業務が軌道に乗るまでは多少の苦労もあったようですが、クラブ経営が本来の業務であることを念頭に、「指定管理はクラブ経営の補助」として肩の力を抜きました。クラブハウスにしながら施設の管理を行うこともできますし、300万円の管理費はクラブ経営上の補助金という感覚です。

4 今後の展望

今年度、長崎県では初めて文部科学省の「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」の委託を受けました。学校体育授業への陸上競技元オリンピック選手の指導者派遣や、元Jリーガーによるサッカー教室などから始まりましたが、今後は県内クラブの間で町おこしのための共同事業も検討し、より多くの人達が元気になるお手伝いをしたいと考えています。

(長崎県クラブアドバイザー 田原由美)

クラブプロフィール

設 立：平成17年12月1日
地 域：長崎県佐世保市中部地区
会 員：会員数910名（平成26年8月時点）
予算規模3650万円うち指定管理費300万円（平成26年度）
連絡先：〒857-0864 長崎県佐世保市戸尾町5番1号
TEL：0956-25-9373 FAX：0956-59-9376
E-mail：tyuouchikusportsclub@tiara.ocn.ne.jp
H P：http://www.sasebowilldo.net/